

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700933
事業所名	グループホーム福住苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域情報は自治会長や地域の人などから入手し、ごみゼロ運動や盆踊りなど積極的に参加している。地域ふれあいサロンや野外音楽会、子供会の映像会に出かけ地域の人と交流を深めている。また、絵手紙や映像ボランティアなどの訪問があり利用者の楽しみとなり、中・高校生の職場体験の受け入れも継続して交流を図っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	会議は年6回奇数月に開催している。メンバーは町役場職員、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会会長、利用者、家族で構成され、議題は活動報告、運営状況、防災について、外部評価について、質疑応答などで、出席者からは、地域の情報やアドバイスを得て、ホーム運営に反映させている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	役場の担当窓口へは認定更新などで出向き、情報交換をしたり、困った事や分からないことがあれば相談し連携を図っている。町主催の講習会には職員が受講しており、町の文化祭には利用者が作品を出展している。また、後期高齢者医療健康診断は全利用者が受けている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	ホームの行事に合わせて、家族などの集える機会を開催し、多くの家族などの参加があり、交流の機会となっている。意見箱は設置しているが入っていない。家族の来訪は多く、その際、意見交換をしており、出された意見は会議で話し合い、その改善に努めている。偶数月にホーム便りを家族に送り、管理者は毎月の請求書に、利用者のホームでの様子を伝える事を続けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。